

# 三重大学学芸学部歴史研究会会則

## 第一章 総則

才一系 本会は三重大学学芸学部歴史研究会と称する。

才二系 本会により深い歴史の研究を推進すると同時に会員相互の親睦をはかる事を目的とする。

才三系 本会は前系の目的を達成する為に史料の蒐集、講義、展覧、史跡見學旅行等を行うと同時に会則として年二回の会誌を発行しその他必要に依りて諸々の事業を行う。

才四系 本会は學芸部歴史専攻主同卒業生で構成される。但し本会の目的に賛成するものは特別会員としてその入会を役員会に於て認める。

## 第二章 役員及び役員会

才五系 一 本会には左の役員を置き任期は一年とする。但し再任は妨げない。

- |         |    |      |    |      |    |        |    |
|---------|----|------|----|------|----|--------|----|
| 1 運営委員長 | 一名 | 2 書記 | 一名 | 3 会計 | 一名 | 4 運営委員 | 八名 |
| 5 自治委員  | 三名 |      |    |      |    |        |    |

二 その他役員会が必要と認める時特別役員を置く事が出来る。

才六系 運営委員長、書記、会計は東会に於て歴史専攻生の中から選出され運営委員は各期別に二名ずつ互選される。

才七系 本会役員は東会に於て出席者数の三分の二以上が不適当と認められた場合はこれをリコールする事が出来る。

才八系 本会は歴史学担当の教員を顧問とする。

才九系 役員会は運営委員長が必要と認める時これを招集する事が出来る。

## 第三章 東会及び総会

才十系 東会は本会の最高議決機関であり東会は原則として月一回招集される。

(以下表紙裏につづく)

才十一系 集会は在學会員の二分の一以上の出席を以て成立する。但し二分の一に満たない場合でも運営委員長が  
必要と認める時はこれを成立させる事が出来る。  
才十二系 総会は全会員で開かれ研究発表並びに前途を目的とする会合とし衆則として年一回ひらかれる。

#### 第四章 財政

才十三系 本会の費用はクラス費並びに会員より徴集される会費によってまかなわれる。  
才十四系 本会は会費年一五〇円特別会員より年二〇〇円の会費を徴集する。

才十五系 本会の会計年度は四月一日より翌年の三月三十一日までとし財政は会計が衆則として前期 後期の年二回  
これを報告する。

才十六系 会計監査は役員会に於て行う。

#### 第五章 補則

才十七系 本会則は昭和三十二年五月 日より効力を発する。

才十八系 本会則の改正は集会に於てこれを行う。